

3年国語	単元名	「ポスターを読もう」～「気持ちをこめて『来てください』」	5時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャッチコピーについて知り、ポスターの作成を通して、書かれた情報を正確に読み取れるようにする。 ○ 手紙の書き方のきまりと組み立てを知り、伝えることを明確にして、案内の手紙を書くことができる。 ○ 相手を意識して丁寧な言葉を使うとともに、間違いを正し、文を整えて、丁寧な字で仕上げることができる。 		
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポスター、キャッチコピー、行事、日時、はじめのあいさつ、後づけの意味や書き方を理解する。 ○ 敬体と常体の違いを知り、適切に使分けられるようにする。 		
学習課題	ポスターを作ったオリジナルのイベントに、大すきな人をしようたいする手紙を書こう。		
主な学習活動	手紙の書き方のきまりと組み立てを知り、書くべき情報を吟味して、ワークシートに整理する。 ワークシートにまとめたものをもとに、便箋に手紙を書く。		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポスターの読み方を理解し、必要な情報やキャッチコピーを入れて効果的なポスターを作成できたか。 ○ 手紙の書き方を理解し、大切なことを落とさずに、案内の手紙を書くことができる。 		

学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
1	「ポスターを読もう」 ポスターの例を見る 同じ行事の2種類のポスターを比べる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書週間のポスターを例として、イベント等の名称やキャッチコピー、実施期間や日時等が示されていることを読みとる。 ・ イラストにも重要な情報やメッセージが込められていることに気づく。 ・ どちらにもあること、どちらかだけにあること、示され方がちがうことについて比べ、ポスターが作られた目的や知らせたい相手を考える。 ・ ポスターについて、分かったことをまとめる。 ・ 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な年齢、職業、立場の人がいることから、どんな場面でも読書ができることを伝えていることを知らせる。 ・ ルーブリック評価を行う。
2	「ポスターを読もう」 オリジナルのイベントを考えて、ポスターに書くことを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアで話し合いながら、イベントの名称、内容、日時、場所、参加してほしい人等を考え、ワークシートにメモを取る。 ・ 考えたことから、ポスターにかき入れる事柄や絵を決める。 ・ 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にポスターを作成するのは宿題になるので、考えたことを記録する。随時変更を認める。
	家庭学習課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手書きで、または、パワーポイント等を使って、ポスターを作成し、GoogleClassroomからPDFで提出する。 	
3	「ポスターを読もう」 自作のポスターを発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスターを提示し、どのようなイベントを考えたのか、分かりやすく発表する。 ・ 発表者の意図したポスターになっているかを考えながら聞き、分からないことを質問したり、よいところに気づいて伝えたりする。 ・ 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ GoogleClassroomからPDFで提出されたポスターを、教室のモニターに映し出す。 ・ 発表の際には、声の大きさや話す速さに気をつけさせる。
4	「気持ちをこめて、『来てください』」 オリジナルのイベントに大すきな人を招待するための、案内の手紙を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手紙の書き方のきまりと組み立てについて知る。 ・ 手紙を書く相手を確認し、ワークシートを使って、イベントへ案内するために必要な事柄を、手紙の組み立て通りに整理する。 ・ 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組み立ての順番通りでなくてもよいので、分かっているところから書いていくことを勧める。
	家庭学習課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートが書き終わらなかった場合は、仕上げてくる。 	
5	「気持ちをこめて、『来てください』」 案内の手紙を便箋に清書する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを見直し、誤字脱字や漢字に直せるところがないかを確認する。 ・ 敬体で手紙を清書する。 ・ 読む人のことを思い浮かべて、丁寧な字で書くように指導する。 ・ 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学級には敬語が離せない児童がいるが、授業中に担任や友達が使っている文末であることを確認し、個別に指導する。